

第1回

メドテック リサーチスタジオ ピックソン

Medtech Research Studio Picthon

ー写真からニーズと解決策を創造するアイデアソンー



Picthon「ピックソン」とは？

ピックソンとは、ピクチャー (picture) とマラソン (marathon) を掛け合わせた混成語で、NPO法人まもるをまもるが独自で行っているイベントの名称。ピックソンは、違和感を感じるシーンを写真で切り撮り、そのシーンを多様な背景から成るチームメンバーで洞察し、言語化し、可視化し、課題や問題を定義し、その解決策を創造するイベント。



本会の目的

- ・ 医療機器開発に携わる人材育成を主とする 主に医療従事者を対象とする
- ・ 普段の業務からかけ離れて感じる「医工連携」について考えて頂くきっかけを作る
- ・ 新規事業のきっかけとなる、臨床ニーズの発掘の一手法として、Evagraphyを紹介する
- ・ 今回は、ニーズ探索とVPC (Value Proposition Canvas) を実践的に学びます。

概要

日時：2月2日 & 16日(水) 夕方 18~21時 (2日間開催)

会場：オンライン (Zoom)

目標人数：30名 (最大5チーム、各チーム6名まで)

開催スタイル：

(両日の講義&WS+間の2週間もチーム毎のグループワーク [宿題] あり)

協力 NPO法人まもるをまもる

＼お申し込み／



お申し込み

右の二次元コードよりお申し込みください▶

(Medtech Research Studio ワークショップ「第1回 ピックソン」お申込みフォーム)

【事務局】 筑波大学つくば臨床医学研究開発機構 (T-CReDO) TR 推進・教育センター

【E-Mail】 TR_info@md.tsukuba.ac.jp 【Tel】 029-853-3630

登壇者プロフィール [NPO まもるをまもる 代表理事]



西垣 孝行 Takayuki Nishigaki

森ノ宮医療大学 臨床工学科 准教授

1977年生まれ、大阪出身。2000年から国立循環器病研究センターで17年間、臨床工学技士として従事。人工心臓や補助循環などの臨床業務と並行して博士(応用情報科学)取得、また7年間医工連携に従事、感染予防用アイガード「パラシールド」を商品化。経済産業省の始動Next Innovator2016に参加(シリコンバレー派遣組み20名に選抜、最終プレゼンターに選出)。2017年経済産業省医療福祉機器産業室を経て、2018年に森ノ宮医療大学に着任。2019年「医工デザイン融合」をコンセプトに、命を守っている人を守るための新しい構造を創るNPOまもるをまもるを法人化。アートで医療界と産業界の「知の融合」にトライするアプリ「evaGraphy」を開発(12月14日にローンチ)。

mamoru²の
ホームページ▶



大浦 イッセイ Issei Oura

インダストリアルデザイナー、プロダクトデザイナー

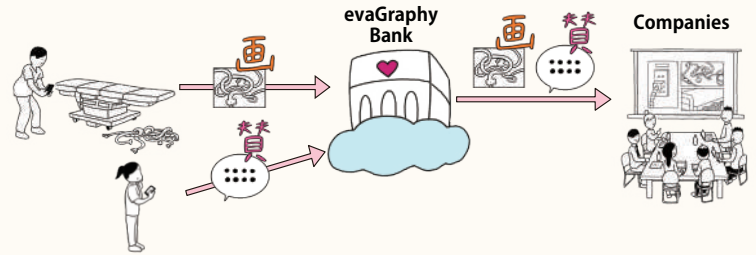
大阪府出身。26歳(1987年)のときに金属彫刻、表現家として独立、金属モニュメント、金属オブジェ作品から、プロダクトデザイン、空間デザイン、UXデザイン、ブランドプロデュースなどを手がける。2002年からはインダストリアルデザインに関わり、グッドデザイン賞などを多数受賞。また、デザインに伴った、特許権、意匠権、商標権を多数個人取得している。また、2014年からは臨床現場のニーズを基にした健康・医療関連のデザインを手がけ、メディカルアイウェアブランド(Parashield)と(RXEYEWEAR)を立ち上げ、事業化している。2016年からは、医療機器開発支援、医工連携プロデュース、医工連携支援人材育成、オープンイノベーションなど、健康・医療に関わり、2018年には特別非営利活動法人まもるをまもるを立ち上げ、社会的な活動に尽力している。

mamoru² NPO まもるをまもる

命を守ってくれている方々をみんなでまもるための新しいしくみを創っています。企業との連携、ならびに医療とデザインという強みを活かし、命をまもる現場の課題と向き合い、医療や介護施設で働く方々だけでなく、家族や社員の命をまもるすべての方々を支援します。

evaGraphy について

命の現場の中で、違和感に感じた写真(画)を自由にアップして、その画を見て感じたコメント(賛)をアップする。限られた仲間と共有できるNPOまもるをまもるが独自開発したウェブアプリ。



筑波大学 T-CReDO メンバー



荒川 義弘、小柳 智義、町野 毅、野口 裕史、渡邊 真哉、古屋 欽司

筑波大学T-CReDOでは、AMED次世代医療機器連携拠点整備等事業として、臨床現場の臨床ニーズ探索、ブレインストーミングによる解決策の創出、企業マッチング、事業化のためのメンタリング等、産官学の医療機器開発研究者に対して、様々な医工連携支援活動を行うとともに、人材育成のためのセミナー・ワークショップを企画しております。

イベント 概要

1日目：写真からニーズを創造するワークショップ(対話型鑑賞、ピックソンマップ)

ワーク期間：ニーズから解決策を創造するチームワーク(evaGraphy、ピックソンマップ)

2日目：チームごとの発表会と表彰式